

平成29年度肥後っ子いきいき読書環境づくり第1回講座

## 「子どもの心に本を届けるーアニメシオンの魅力」



**主催** 熊本県立図書館

**期日** 平成29年7月3日(月)

10:00~15:00

**会場** 熊本県立図書館3階大研修室

**講師** 種村 エイ子 氏 (かごしまアニメシオン倶楽部代表)

**参加者** 64人

**対象** 公共図書館職員、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校図書館職員  
(司書・司書教諭を含む)

午前の部 講義 「アニメーションの魅力を探る」

アニメーションの歴史や、スペイン・フランスでの取り組み、日本でのアニメーション発展など、講師のフランス研修の経験も踏まえながらお話いただきました。



午後の部 グループ実習 「アニメーションを体験しよう！」

**実習①**表紙が隠された絵本の読み聞かせを途中まで聞いて、本のタイトルと話の続きをチームごとに考えてもらいました。講師の種村先生からは、「実際のタイトルより、みなさんが考えてくれた方がずっといいですね！」とのお言葉もありました。

**実習②**「きみたちは図書館探偵団～家出犬を探せ大作戦」というアニメーションでした。各チームにはそれぞれ違う本の1～2ページ分のコピーが配布され、その内容をもとに、会場に並べられた本の中から、コピー元の本を探してもらいました。1ページの内容から、元の本の内容や分類を推測するのは難しくもあり、面白くもあって、大変盛り上がりました。



## 参加者の感想（アンケートより一部抜粋）

- ・アニメーションを言葉でしか知っていなかったので、今日お話を聞き、実際に体験して少しは理解することができたのかなと思います。すごく楽しいとアニメーション体験をして感じたことを子ども達に感じてもらえるような活動をしていきたいと思います。〈公共図書館〉
- ・アニメーションは学校向けの技術かなと思っていましたが、公共図書館でも取り入れられる部分があると気が付きました。〈公共図書館〉
- ・図書館と人をつなぐものすべてがアニメーションなのだと思うと、様々な企画でもっとアニメーションを広げていきたいと思いました。今後の活動に繋げていきたいです。〈公共図書館〉
- ・アニメーションの概念をわかりやすくお話し、実演してくださったのでとても勉強になりました。〈小学校〉
- ・午後からの講座で体験したアニメーションは、実際に子どもたちとやってみたいと思います。受講したことで、「アニメーション＝難しい」という考え方が変わりました。もっと楽しんで、子どもたちに本を紹介できそうです。〈小学校〉
- ・視野が広がったし、図書館というのは楽しくていろいろなやり方ができるところだなあと感じる事ができてとても良かった。〈高等学校〉
- ・アニメーションの定義が広く、緩く、とっつきやすくなっていて、今日一日でずいぶん取り組みやすくなりました。〈小学校〉
- ・本のタイトル、内容を考えるのが楽しかった。パリなどのアニメーション事情が知れて面白かった。〈公共図書館〉